

江渡のぶたか 後援会だより

情熱！

行動！

勇気！

十和田市を元気に！をモットーに
江渡のぶたか後援会だよりをお届けします！

【発行元】江渡のぶたか後援会事務所
〒034-0011 青森県十和田市稲生町 15-12
☎090-8789-5635



雇 用 に つ い て

今回は、雇用についてお話させていただきます。人間が生きていくためには、どうしてもお金が必要で、お金は労働に対する対価です。働かなければ得ることができません。働き方は人それぞれですが、大多数の人は何らかの組織に所属し、汗をかき、知恵を出し、給料という形で収入を得て生活しています。その方々が所属する組織のほとんどが中小零細企業です。十和田市に本社を置く企業の商業では2.7%、工業では100%が中小企業です。つまり、十和田市の雇用を支え、経済を支えているのが中小企業なのです。

私は、企業の皆様と共に、中小企業ならではの魅力と強みを発信して行きたいと考えております。十和田市に創業10年を超える老舗と呼ばれる企業を増やしたいと思っています。

中小企業に優秀な人材の確保と雇用の充実を図るには、国やハローワークでは行

届かないサポートが不可欠だと私は考えております。

具体的には、働きたい人、両者を繋げる「コンシエルジエ」を作りたと思っていますので、「コンシエルジエ」は企業に出向き、企業の理念や経営方針を聞いたうえで、企業が求める人物像を調査し、求職者からは、労働者としての要望に耳を傾け、企業と求職者との「マッチング」の機能も果たしてもらおうつもりです。

企業、NPO団体、そして市役所なども情報を共有し、コーディネーター的役割も担ってもらい、各方面の「痒いところ」に手が届く「存在」になってほしいと考えております。雇う側、雇われる側、どちらにとっても頼りになる存在が「コンシエルジエ」です。現在、子育てを理由に働くことを諦めた人や、復帰の機会をうかがっている人がいます。子育てを理由に働くことを断念せざる状況が少なくなるような環境を「コンシエルジエ」が整えていけるように

したいと思っています。

「コンシエルジエ」の役割は専門性も問われますが、企業が営業し続けられるよう、女性が子供を産み、育て、母としても女性としても輝けるよう、また、若者が結婚し、家庭を持ち、世代を超えて住み続けたいと思える十和田市になる為、不可欠な存在だと考えています。

私の政治理念は「十和田を元気に」です。若者も、女性も、そして人生の先輩である高齢者の方々も、いつまでも心身共に健康で、十和田に住んで「幸せ」だと実感できるまちにするため、様々なことに挑戦していきます。

平成24年9月の十和田市議会一般質問から中小企業振興基本条例の制定を訴えてきました。やっと今年の4月1日から施行されることになりました。この条例をきっかけに十和田市の産業が発展し雇用につなげていけるよう、前に進めていきたいと思っています。

十和田市を元気に！

江渡のぶたか
だからできること！

人と人をつなげる事！

結婚支援

- 出会いのサポート
- 勤労・就労のサポート
- 住まいのサポート

雇用

- 農商工の振興
- 就労機会を増やす
- 雇用と求職のマッチング
- 女性の働きやすさ

育児支援

- 保育施設の充実
- イクメンの組織化
- 要支援児童への対応
- 両親の不安や悩みの対応

教育

- ICT教育の推進
- 外国語能力を高める
- 道徳・倫理で心豊かに
- 郷土教育の推進

地域の連携

- 地域の結びつき
- 地域ぐるみの子育て
- 子どもと若者・高齢者のコミュニケーション力を高める

住みよい環境

- 社会環境 防犯・防災
- セーフコミュニティ
- 自然環境 温暖化

全ての政策を少子高齢化対策に集中！

一般質問

商店街の活性化について

江渡質問 第2次十和田市総合計画・重点プロジェクトの中に、「中心市街地の再生などにより産業振興を推進することとで、市外からより多くの人々や消費を引き込み」とあります。産業振興を推進するという事ですが、その中の一つ中心商店街と具体的にどのような話し合いをしているのかお知らせください。

観光商工部長 中心商店街振興組合では、今年度、「中心商店街振興プラン」の実施計画策定に取り組んでおり、市では、この取組に対し「十和田市中央商店街振興プラン実施計画策定事業補助金」を交付するとともに、必要に応じたアドバイスを行うなどの支援に努めております。市といたしましては、この計画により商店街活性化に向けた取組が一層推進される事、また、このような商店街みずからの取組が他の商店街にも波及することを期待しているところでございます。

江渡意見 「中央商店街振興プラン」の実施計画策定を行っているという事で、中心市街地の盛り上がりの創出には必要不可欠であると思っております。未来がもっと賑わいを見せる事ができるよう、私としても精一杯、力添えをしたいと思っております。

イベントの開催について

江渡質問 市民交流プラザや市民文化センターの利用者を商店街へ誘導する方法について市の考えをお知らせください。

観光商工部長 各施設を利用してはいる多くの方を商店街へ誘導するためには、商店街で行われるイベントや個々の店舗の魅力などを積極的にアピールしていく必要であると考えております。

江渡質問 中心部の盛り上がり創出するには、流動人口を増やす試みが必要であります。市民交流プラザタワーや市民文化センターの利用者を商店街へ誘導する事について、イベントや催しを目的に來ている方々はいったいどのくらいいるのか、双方の利用者数と駐車場利用台数をお知らせください。

人、駐車場の利用台数は、25万7千台です。

江渡質問 市民交流プラザタワーや文化センターには、85万6千人の人がイベントや催しに來ているという事ですが、例えば、商店街ではハロウィンなど行われ毎年賑わいを増しております。市としてこれからも継続して協力する考えはありますか。

観光商工部長 広報とわだ・市のホームページによる市民への周知については、引き続き協力してまいります。商店街活性化イベントを含む各種事業への支援につきましては、次期「中心市街地活性化基本計画」の策定過程において、事業の効果等を踏まえ検討してまいります。と考えております。

江渡意見 イベントの開催は、自助・協働だけでは継続していきません。商店街の方々も色々知恵は絞ってはいませんが、高齢化や担い手不足、また予算も限られた中で頑張っています。次期「中心市街地活性化基本計画」の策定に置いて是非、検討していただきたく、これは強く要望したいと思っております。